

学部 / 人間科学領域 / 導入科目

科目コード:130002

# 生物学 Biology

担当教員	峰松 健夫, 大貝 和裕										
実務経験	担当教員は、生物学を基盤とした看護学(バイオロジカルナーシング)の教育と研究に携わっている。										
開講年次	1年次前期			単位数	1			授業形態	講義・演習		
必修・選択	選択			時間数	15						
該当ディプロマポリシー	(1)	○	(2)		(3)	◎	(4)		(5)		(6)
Keywords	細胞、遺伝、遺伝子、発生、分化、ホルモン、神経、免疫										
学習目的・目標	生体の構造や機能など、看護に必要な生物学的基礎知識を理解し、看護における生物学的視点を身に着ける。										
授業計画・内容											
回	内容									担当	
1	オリエンテーション、看護における生物学の意義(教科書1・16章)									峰松	
2	細胞(教科書2・3章)									大貝	
3	遺伝(教科書5章)									峰松	
4	遺伝子発現(教科書6章)									大貝	
5	生殖・発生・分化・老化(教科書7・8・15章)									峰松	
6	動物の組織・器官(教科書9・10章)									大貝	
7	生体調節(教科書11・12章)									峰松	
8	微生物と免疫(教科書13・14章)									大貝	
教科書	医療・看護系のための生物学(改訂版). 田村隆明著. 裳華房										
参考図書等	系統看護学講座-基礎分野 生物学 第10版, 高畑 雅一, 増田 隆一, 北田 一博. 医学書院. ISBN: 9784260031899 看護系で役立つ生物の基本, 西沢いずみ著. 化学同人. ISBN: 9784759820652										
評価指標	試験70%, 授業参加態度30%										
関連科目	化学, 生命倫理学, 生理人類学, 解剖生理学, 代謝と栄養, 人間病態学, 疾病・障害論I, 薬理学										
教員から学生へのメッセージ	高校で生物を履修していない学生、苦手だった学生を対象とした講義です。看護の対象が「ヒト」という生き物である以上、生物学は看護師にとって欠かせない素養だと言えます。教科書の暗記ではなく、活きた知識を身に着け、生物学の面白さを体感しましょう。										